



各位

平成28年 7 月 25 日

上場会社名 東洋機械金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 十亀 和則
 (コード番号 6210 東証第一部)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 砂元 一水
 (TEL 078-942-2345)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年4月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	980	980	800	42.55
今回修正予想(B)	13,000	760	670	440	23.40
増減額(B-A)	△ 500	△ 220	△ 310	△ 360	
増減率(%)	△ 3.7	△ 22.4	△ 31.6	△ 45.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成28年3月期第2四半期)	13,171	877	917	711	34.53

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,500	2,050	2,050	1,680	89.35
今回修正予想(B)	27,000	1,830	1,740	1,270	67.54
増減額(B-A)	△ 500	△ 220	△ 310	△ 410	
増減率(%)	△ 1.8	△ 10.7	△ 15.1	△ 24.4	
(ご参考)前期実績(平成28年3月期)	26,664	1,800	1,813	1,863	92.26

修正の理由

第2四半期連結累計期間及び通期の見通しにつきましては、国内経済は緩やかな景気回復が持続すると見込まれますが、海外においては、中国景気の減速が続くと懸念され、また、年初来の円高に続き英国の欧州連合(EU)離脱問題等の影響により、さらに円高が進行したこと等から景気の先行き不透明感は増している状況です。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内の設備投資は堅調に推移すると見込まれ、需要は回復傾向にあると予想されます。一方、海外では、中国をはじめとするアジアでは需要の減少が続くと思われ、また、堅調である欧米等の自動車や生活用品関連向け等の需要も円高圧力の影響を受け、販売価格等で厳しい展開が予想され、受注が縮小する懸念があります。

この結果、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想について上記の通り修正いたします。

※上記の業績予想は、発表日現在における将来の見通し、計画の前提となる予測が含まれております。

実際の業績は、今後の様々な不確定要因によって記載と異なる可能性があります。

以上